

12月資料展示：

『死海写本』 The Dead Sea Scrolls

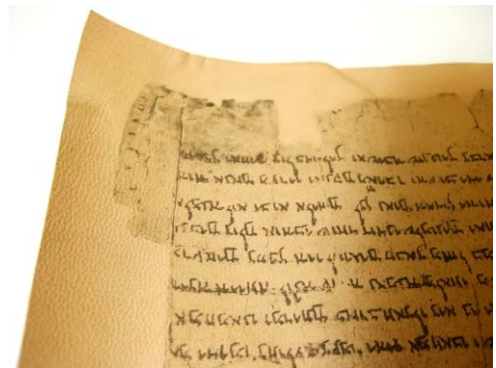
(監修：関根正雄、東京；講談社、1979年)

エルサレム・聖典聖堂所蔵原本による原色原形複製版

於：立教大学新座図書館

死海写本の意味

1947年、死海の北西に隣接する洞窟から偶然に羊皮紙の古文書の一群が発見された。20世紀最大の古文書発見と言われるに至る事件の発端である。この後、1956年までの間に、11ほどの洞窟（クムラン洞窟と命名された）から、様々な内容の古文書が発見された。これらは一般に「クムラン文書」と呼ばれ、この洞窟群の近くに隠遁的居住地を形成し



ていた「クムラン教団」（エッセネ派の中央組織と言われる）が、紀元前2世紀ごろから紀元後1世紀にかけて制作したものと思われる。内容はこの教団固有の規律書、聖書の注解書、聖書の諸巻、旧約外典・偽典に相当する文書、その他の黙示や知恵文学や詩篇の文書と多岐にわたる。これらの文書の最大の意義は、原始キリスト教がスタートしたと同時代のユダヤ教文書が、オリジナルで現れたことであり、ここから当時のユダヤ教の多様な実態の研究が一挙に進展することとなった。

なお、これらの「クムラン文書」以外にも、死海沿岸の他の地域、つまり、ワディ・ムラバアト、ナハル・ヘベル、ギリベト・ミルド（さらにはマサダ）からも古文書が発見された。それらは「クムラン文書」とは直接関係がない場合が多いが、「クムラン文書」と合体させて、「死海文書」と総称される。もっとも、「クムラン文書」のみを「死海文書」と呼ぶ人も少なくない。

ここで展示された「死海写本」／The Dead Sea Scrollsの原色原形複製版も、正確には「クムラン文書」の中の3写本の複製である。つまり、『イザヤ書』本文、『ハバクク書注解』、それに『共同体の規律』（別名「宗規要覧」）である。イザヤ書の本文は、現在一般に使われている旧約イザヤ書のマソラテキストよりも圧倒的に古いテキストが現れたことで、その本文批評学的な意味は計り知れない。また、ハバクク書の注解は、クムラン教団独自のアレゴリー注解で、教団の自意識を理解する上で大変貴重である。また、『共同体の規律』は、クムラン教団の内的規律と構成を知る上で極めて重要な文書である。彼らこそ、やがて来る終末における大団円を予期し、エルサレム神殿に与しない祭司階級を中心に結束して、特殊厳密な宗教共同体を形成維持していたのである——あの第一次ユダヤ戦争（紀元66-70年）において、ローマ軍に壊滅させられるまで。

<死海文書Q&A>

Q 1. 死海文書とは？

死海北西部にあるワディ・クムランの洞穴で発見された大小 800 種以上の古い文書の総称。

Q 2. 死海文書の年代は？

紀元前 2-3 世紀から紀元 1 世紀ごろ。

Q 3. 死海文書の素材は？

死海文書の素材のほとんどは羊皮紙で 10%弱がパピルス。その他、銅板、子羊皮に、鷲ペンや葦ペンを用いてインクで書かれている。

Q 4. 文章は何語？

90%はヘブライ語で、10%がアラム語で書かれている。

Q 5. 死海文書にあって今の旧約聖書に無いものは？

詩編第 151 編などは死海文書にのみ含まれている。



※参照：『死海文書 Q&A』池田裕著（2000）より

<死海文書年表>

1947	ムハンマド・エッ・ディーブという若い羊飼いが、死海沿岸、クムランの北側で洞穴を発見。11 月、国連が、パレスティナを分割してユダヤ人国家とアラブ人国家の二つの独立国家をつくる決議を採択。
1948	イギリスの委任統治が終了し、イスラエル国が誕生。
1950	クムラン地区がヨルダンに併合される。洞穴に関する最初の学術出版が行われ大反響を呼ぶ。
1952	考古学者らがクムランの洞穴を調査し、遺跡と同時代のものを 26 ヶ所発見する。
1953	ド・ヴォーの指揮下で各国の研究者による死海文書の出版作業が始まる。
1956	ベドウィンが最後となる 11 番目の洞穴を発見。第 2 次中東戦争勃発。
1961	ヨルダンのフセイン国王が写本を国有化。
1967	6 月にイスラエルがエルサレムを占領。第 3 次中東戦争の結果、クムランの遺跡とパレスティナ考古学博物館がイスラエルのものとなる。
1991	イスラエル考古学当局が死海文書の出版の指揮をとる。
1997	死海文書の写本が CD-ROM に収められる。
2002	クムラン考古学に関する国際会議がはじめて開催される。

※参照：『死海文書入門』（知の再発見双書）

<死海文書についての参考図書>

- 『死海文書入門』 ジャン=バティスト・アンベールほか著；遠藤ゆかり訳（「知の再発見」双書，創元社 2007）
- 『はじめての死海写本』 土岐健治著（講談社現代新書；講談社 2003）
- 『死海文書大百科：ビジュアル版』 フィリップ・R. デイヴィスほか著；池田裕訳（東洋書林 2003）
- 『死海文書の謎を解く』 ロバート・フェザー著；匠瑛玲子訳（講談社，2002）
- 『死海文書 Q&A』 池田裕著（ミルトス，2000）
- 『死海写本とイエス』 K. ベルガー著；土岐健治監訳（教文館，2000）
- 『死海写本と聖書の世界：キリスト降誕 2000 年「東京大聖書展」公式展示品カタログ（「東京大聖書展」実行委員会出版委員会編，2000）